



日本パラグライダー協会
2006 年度
JPA・オープン・リーグ競技規定

JOL Ver. 1.4

 変更項目

JPA・オープン・リーグ競技規定（JOL）

制定の主旨

日本におけるパラグライダー競技人口の底辺拡大と競技の活性化を図る。

日本パラグライダー協会(JPA)公認オープンリーグ(JOL)は、JPA・ナショナル・リーグ(JNL)競技規定に基づきフライト距離 30km 前後を基本としパラグライダーの楽しみ方の一つとしての競技を捉えたなかでパラグライダー競技の登竜門でもありまた、JNL へのステップアップとしての位置付けと競技フライトのトレーニングの場とする。

目次

☞ 変更項目

1. 概要	4
1.1 開催予定の周知.....	4
1.2 公認.....	4
1.3 参加資格.....	4
1.4 開催期間（JOL 年度）.....	4
1.5 登録方法 ☞.....	4
1.6 エントリー番号.....	5
1.7 ポイント計算とランキング ☞.....	5
1.8 使用グライダー.....	5
1.9 エントリー方法.....	5
1.10 JOL タスクの種類.....	6
1.11 表彰 ☞.....	6
1.12 年間表彰 ☞.....	6
1.13 グライダー変更に伴うクラス変更.....	7
1.14 JOL リーグのエントリーフィー ☞.....	7
2. JOL 開催規定	7
2.1 開催の申請.....	7
2.2 パイロンの配置.....	7
2.3 選考方法.....	7
2.4 ローカルルール.....	7
2.5 応募要項.....	8
2.6 大会競技委員長.....	8
2.7 結果の送付.....	8
3. 大会競技規定	8
3.1 タスクの証明.....	8
3.2 大会、タスクの成立.....	8
3.3 スコアリング.....	8

3.4	タスクキャンセルとタスクストップ.....	8
-----	-----------------------	---

1. 概要

JPA・オープン・リーグ（JOL）、JPA 公認大会ルール並びに JNL 大会ルールを前提に設定されている。参加選手は、双方を良く理解した上で大会に参加すること。

1.1 開催予定の周知

大会の開催予定は申請を受理した時点で速やかにホームページ等を通じて通知される。

1.2 公認

大会は JPA 公認の JOL 対象大会とする。

1.3 参加資格

- ・ JPA パラグライダーパイロット技能証所持者、または、JHF・P 技能証所持者とする。（大会によっては JPA・EP 技能証を求められることもある）
- ・ JPA パラグライダーパイロット会員証あるいは JHF フライヤー会員証が有効であること。
- ・ 各自で傷害保険に加入すること。

1.4 開催期間（JOL 年度）

年度は毎年 1 月 1 日から始まり、12 月 31 日に終了する。
(大会の成績の出る日で管理する)。

1.5 登録方法

JOL に参加を希望するパイロットは参加した大会が成立した時点で自動的に獲得ポイントが計上され登録される。ただし、JPA ライセンスを持っていない者とナショナルリーグのトップ 30 位以内の選手は、オープンリーグポイントシステムに自動登録されることはない。

・ チーム登録

チーム登録は年間を通じてチーム名として登録しする事が出来る。

- ・ TEAM：3 名 1 組でのチーム登録を受け付ける。（女子選手加入の場合は 4 名 1 組で参加できる）

チーム登録はチーム名とチームリーダーを登録する。

各大会毎に、チームリーダーがその大会に参加するメンバーを 3 名(女子選手加入の場合は 4 名)エントリーする。

大会によって出場選手を変更することが出来る。

出場大会でチーム選手を決定し個人エントリーとは別にチームエントリーを行う。
成績は参加した3名(女子選手加入の場合は4名)のうち上位2名の合計とする。

1.6 エントリー番号

- ・ ゼッケンは使用する機体の下面前部に明瞭に表示されなければならない。
- ・ ゼッケン番号は基本的に黒を用い、一文字縦 60cm 横 30cm のデジタル文字とする。
- ・ ゼッケンは機体下面の中央、前方に進行方向を上部とし、わかりやすく貼られること。
- ・ 大会競技委員長はゼッケンに関する色その他の変更事項に許可を与えることができる。
- ・ 201～399番までの番号を当該年度の固定エントリー番号とする。
- ・ JNLおよびJAL登録者はその番号を当該年度の固定エントリー番号とする。

1.7 ポイント計算とランキング

パイロットはJPA公認のJOL大会に出場し成立した大会の各タスクで得られた得点を計上する。獲得したポイントの多い順に3タスク分計上し年間ランキングを確定する。

同点の場合には、点数差が出るまでタスク得点を計上してゆく。

1.8 使用グライダー

JOLはグライダーによるクラス分けは行うが、同一タスクで競われる。

(ただしシリンダー半径は各クラス違う)

グライダーカテゴリーにより1.12による年間表彰を行う。

1.9 エントリー方法

- ・ JPA 競技事業部のホームページWEB上受付登録画面から必要事項を記入し、申し込みをする。登録受理された時点以降の大会からポイント有効となる。
- ・ 選手はWEB上のフライト誓約書、グライダー使用誓約書をプリントアウトし、記入署名した後、シリーズ初戦大会受付にて大会主催者に提出する。
- ・ グライダー変更の場合は該当大会で主催者に提出する。年度初めに提出すれば、グライダー変更がない限り提出する必要は無い。
- ・ JNL 登録選手であっても、JOLに出場の際には同書類を提出のこと。
- ・ 大会開始4週間前までにエントリーした選手に確認書ならびにエントリー費送金案内を送らせていただきます。選手はこの時点でエントリーするかキャンセル

するかを決定し、キャンセルする場合には速やかに事務局へご連絡下さい。

- ・ エントリーする選手は大会開始 2 週間前までにエントリー費をお支払い下さい。
2 週間前までにキャンセルの連絡がなかった選手はエントリーと判断し、エントリー費をお支払い頂きます。

1.10 JOL タスクの種類

- ・ Elapse time To Goal (エラップタイムレース)
- ・ RACE TO GOAL (ゴールレース)
- ・ アキュラシー

(大会当日がソアラブルなコンディションにならないときには、アキュラシー規定に基づいて競技を行うが、年間ポイントランキングには計上しない。)

1.11 表彰

JOL は以下のようにクラス分けし表彰を行う。

各大会、各クラス 1 位～ 3 位

クラス分け	カテゴリー	シリンダー
オープン	2005年JNLトップ30位	200m
C1	DHV 2 - 3 以上、AFNOR COMPETITON	200m
C2	DHV 2 (DHV を取得していないライダーは AFNOR PERFORMANCE)	300m
C3	DHV 1、1 - 2 (DHV を取得していないライダーは AFNOR STANDARD)	400m

1.12 年間表彰

JOL は各クラス毎に年間ランキングの表彰を行う

各クラス、1 位～ 3 位

各クラス、女子 1 位

年間表彰の賞金

JNL 総合 1 位：5 万円

JNL 女子 1 位：5 万円

JOL 各クラス 1 位：5 万円

副賞：下記ランキングの選手は次年度の大会に優待選手として出場することが出来ます。

各クラス 1 位～ 3 位：JOL の次年度大会に参加費¥5,000 (二日間の大会の場合)

C 1 位～ 3 位：JNL の次年度大会に参加費¥5,000 (二日間の大会の場合)

1.13 グライダー変更に伴うクラス変更

JOL シーズン途中でC 3クラスからC 2クラスへグライダー変更に伴いクラス変更になる場合はそれまでのポイントを持ち越し、新しいクラスでのランキングに反映される。それまでのクラスのランキングは削除される。

1.14 JOL リーグのエントリーフィー

JOL 登録費は大会参加の時点で自動登録、登録料は無料
チーム登録は年間¥2,000

2. JOL 開催規定

JOL は原則的に JNL 開催規定に準ずる。

2.1 開催の申請

大会の開催の申請にあたっては所定の申請用紙、競技規則、エリア地図（5万分の1の地形図で、使用が予定されているテイクオフ、パイロン、ランディング、その他大会の開催に必要な情報が記載されているもの）予定されるタスク及びその距離を明記した資料を大会エントリー締め切り2ヶ月前までにJPA事務局に提出する。JPA年間カレンダーに掲載する場合は大会が行われる前年の11月末までに概要をJPA事務局まで申請する。カレンダーに記載された事項に変更が生じた場合、申請者は変更が生じたことをJOL登録者全員に周知しなければならず、これにかかる費用は申請者の負担とする。

2.2 パイロンの配置

参加資格にJHF P技能証を設定している場合には、パイロンの配置はテイクオフ（または、ランディング）を中心として5kmを一つの目安とし、これを越える範囲にパイロンを設定する場合には安全な緊急ランディングを配置しなければならない。

2.3 選考方法

大会主催者は定員を超えて参加希望者が集まった場合は所定の方法により参加選手を選考しなければならない。ローカルルールとして大会要項に記載し選考を行う。

2.4 ローカルルール

ローカルルールはJPA競技事業部の承認を得る必要がある。ローカルルールは参加選手に事前に広報される。

2.5 応募要項

JPA 競技事業部の WEB 上で提示される応募要項に準ずる

2.6 大会競技委員長

大会競技委員長は、エリアに精通した人たちからの情報(空中、地上)と意見を組み込みその日に合ったタスク案を提示することができる。

大会競技委員長は選手と兼任してはならない。

2.7 結果の送付

大会の結果レポートは、大会において提出された正式抗議と、それに対する処置を付記して、大会終了後3日以内に JPA に提出する。

3. 大会競技規定

JOL は JNL 競技規定に基づいて競技を行う。

3.1 タスクの証明

- ・ 飛行の証明は全て GPS のトラックログで判定する。
- ・ 参加選手は少なくともひとつの GPS を装備すること（使用できる機種は主催者の指定しているもの）
- ・ 参加選手は、GPS を正しいパラメーターにセットすること
- ・ 参加選手は、帰着申告の際その日の飛行のトラックログを GPS からダウンロードすること

3.2 大会、タスクの成立

全参加選手がテイクオフ出来る時間が空いていたとき、ゲートオープン時間内に棄権を除く全選手がテイクオフし、Dayクオリティーが+で成立する。

3.3 スコアリング

計算式は、RACE2002(GAP2000)のスコアリングフォーミュラーを用いる。

（パラメーターは全大会統一のものとする。2005 年度値）

パラメーター： ノミナル・ディスタンス：15km

ノミナル・タイム：1 H

ノミナル・ゴール：10%

ミニマム・ディスタンス：3 km

3.4 タスクキャンセルとタスクストップ

競技開始後に、天候が急変した場合に大会競技委員長はタスクキャンセルをす

ることが出来る。RACE to GOAL タスクを用いた場合一人もゴールに達していない場合はタスクキャンセルとする。少なくとも一人のパイロットがゴールに達している場合には、タスクストップとする。JOL の場合はエラップタイムレースであってもタスクストップを採用する。